

スポーツ業界におけるコーチングのあり方の研究

日大生産工 (学部) ○菅原浩大

日大生産工 山本壽夫

1 はじめに

昨今のスポーツ業界においてコーチングの問題が表面化しつつある。例として体操の暴力指導や圧力などである。この問題について現在のコーチング手法の問題点を見つけ新たなコーチング手法を提案し統計分析を用いて検証する。

2 先行研究

先行研究として、次の項目に関する研究を前提とする。

- (1) 現在のコーチングについて
- (2) ゴルフにおけるコーチング
- (3) コーチングの目指すもの

上記(1)では『スポーツにおけるコーチング—考察』(俵 尚申、2003)を表すことができる。上記(2)では『優れたゴルフ指導者“ハーピー・ペニック”の特徴についてのKJ法による究明—日本語版『奇跡のゴルフレッスン』の核心の把握—』(岩本 敦、2014)を表すことができる。上記(3)では「研修デザインハンドブック」(中村文子、ボブ・パイク、2018)を表すことができる。

3 現状分析

- (1) 現在のコーチングについて

『スポーツにおけるコーチング—考察』の中で日本のスポーツ指導者は、伝統や名誉に縛られて、選手に勝たせることが第一目的、すなわち勝利至上主義に

なりがちであるといっている。「成功」や「結果」に重き置いて、上意下達や縦社会、徒弟関係の性質をもったコーチングスタイルが現在の主流であり、根深く残っている。

- (2) ゴルフにおけるコーチング

『優れたゴルフ指導者“ハーピー・ペニック”の特徴についてのKJ法による究明—日本語版『奇跡のゴルフレッスン』の核心の把握—』において、KJ法を用い分類すると第一の島で「正直な人」、第二の島で「自分らしさ」、第三の島で「最大の効果」、第四の島「親身に導く」、第五の島「ゴルフの知恵」としている。

- (3) コーチングの目指すもの

「研修デザインハンドブック」内においてスポーツ競技のコーチングでは、指導者が対象者に知識を教えることができても、その知識を対象者が「できる」に落とし込むことができず、その奥にある「実践する」に進めていない。これは指導者がコーチングに参加することに重きを置いてしまい、その実になる経験や実践方法を疎かにしているからであるとしている。

4 問題点の抽出

上記1のコーチングにおける問題点は、結果を重視するコーチング体系では、結果を出すことができない、または、困難な選手に対するコーチングが疎かになるケース

A study on research of the state of coaching in the sport industry

Koudai SUGWARA, hisao YAMAMOTO

が多く、さらにその選手にたいして直接的な精神的肉体的苦痛を与える行為につながることである。

上記2にゴルフにおけるコーチングの問題点とし、私個人の経験として、できない人は努力が足りないとして、個人の追加練習を強いられることがあったが、ペニックは、「今日やってしまうミスは、私のミスであって、みなさんのミスではありませんよ」と声をかけたといわれています。これは生徒が上手にできないことを見通して、生徒の気持ちに配慮してかけた言葉であると記されています。ここからコーチングでは、対象者の心持ちに配慮すべきであることが考えられます。

東北ゴルフ連盟では毎年ジュニアゴルフア育成のためにジュニアゴルフスクールを開き、フィールドでのマナー講習を実施しています。

上記3の問題点として、コーチング指導者が行うべきことは、一方的なコーチングではなく、コーチを受ける側が自ら問題点を見出し、解決策を考え、さらにそこからactionできる環境を整えることである。

5 対応策

この上記の問題点を解決する方法として私は、eラーニングを用いたスポーツのコーチング方法をあげます。

このコーチング方法を用いることにより直接的な精神的肉体的苦痛を用いることを低減することができ、コーチング指導者と対象者決まった場所、時間に来るという手間を省くことができ効率化につながると考える。

6 検証方法

本研究では、先行研究、現状分析をもとにケーススタディ方式を前提とし統計分析を用いて検証を行う。

7 おわりに

本研究では、現在行われているコーチングの問題点について考え、指導者と対象者の関係によって生じるコーチングの成果の変化を検証します。本研究についてご指導を賜りました山本壽夫先生に心より感謝申し上げます。

8 参考文献

- (1) 俵 尚申 『スポーツにおけるコーチング—考察』(2003)
- (2) 岩本 敦 『優れたゴルフ指導者“ハーピー・ペニック”の特徴についてのKJ法による究明—日本語版『奇跡のゴルフレッスン』の核心の把握—』(2014)
- (3) 中村文子、ボブ・パイク 研修デザインハンドブック」(2018)
- (4) 公益財団法人 日本生産性本部 レジャー白書2017
<https://activity.jp-net.jp/detail/srv/activity001513/attached.pdf>
閲覧日2018年10月16日
- (5) 東北ゴルフ連盟
<http://www.tga.gr.jp/index.html>
閲覧日2018年10月16日

A study on research of the state of coaching in the sport industry

Koudai SUGWARA, hisao YAMAMOTO